



RI 第 2 6 1 0 地区 井波庄川ロータリークラブ会報

2009-2010 年度 No. 2 3

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2009-2010 年度 会長 齊藤 彰、幹事 坂井 彦就

2009-2010 年度 RI テーマ



「ロータリーの未来は
あなたの手中に」

(ジョン・ケニー会長)

例 会 記 録

第 1 5 0 9 回例会

平成 2 2 年 2 月 3 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 齊藤会長
2. 君が代斉唱
3. ソング 四つのテスト
4. ビジター 南砺 R C 吉江康幸様
同 三吉外男様
5. 月結婚記念日 木村英典会員 (11 日) 河合耕一会員
(24 日)



6. 月誕生日 坂井彦就会員 (13 日) 高瀬顕正会員 (14 日)



7. 会長の時間 次週より会場がしばらく三楽園になります。(エイトホールが確定申告会場になるため) 思い出せば、昨年は今頃 30 周年の準備をしていました。あの時申請していた看板設置の許可が、今頃になってようやく下りてきました。次週予定の、岩崎修氏の入

会式をご本人の都合により、1 週遅れの 17 日の例会で予定します。

8. 幹事報告
 - ・ ガバナー事務所より①ガバナーノミニー内定②山本会長エレクト宛に、PETS の案内③「月信」「ロータリーの友」「抜翠のしおり」が配布
 - ・ 次週より 3 週続けて会場が「三楽園」です。
 - ・ 3 クラブ合同例会は当クラブ主催で、2 月 2 4 日、三楽園です。多数参加をお願いします。
9. 出席委員会 22 名中 14 名出席 (70.00%)
10. ニコニコBOX(河合 SAA: 本日 7 名? 円): 坂井彦就会員、高瀬会員、斎藤会長、山本会員、小西会員、木村会員、河合会員
11. 卓話「雑学・〇暴 VS 桜田門」小西勝会員



先週、幹事から本日の卓話の当番をいわれ、すっかり失念しており、「ロータリーを学ぼう」をテーマに急遽

考えましたが、思いつきませんでした。ただ、「ロータリーの友」先月号（2010年1月号横書き p. 6-13）に、ロータリーの創始者ポール・ハリスの『The National Rotarian』1911年1月号（創刊号）の6000語の随筆を転載してあります。皆さん読まれたかとは思いますが、なかなかロータリーの原点を探る良い事がかいてありますので、まだ未読の方は、是非そちらを読んでいただき、このテーマの卓話に変えさせてください。

さて、これからは、この2月1日県警で開催された、指定暴力団対策協議会に、宅建協会の仕事上、参加しましたので、資料もあり、少しはなしをさせていただきます。

県内でも、現在14組の指定暴力団が存在し、内13組までが山口組系です。350名ほどの団員や準構成員がいて、前者は、覚醒剤の売買など、後者は普段は、会社に勤務など、普通の経済・社会活動をしています、なにかあると、詐欺や恐喝などの行為にでます。全国には、団員21000人、準構成員18000人、合わせて39000人いるといわれます。

1992年に暴力団対策法が制定され、暴力的要求行為や準暴力的行為として21の行為が、禁止されています。

（資料配布）また、企業を対象とした暴力対応マニュアル（資料配布）というものも作られ、問題解決は毅然とした対応と早期相談をと、警察ばかりでなく、暴力追放運動推進センター（資料配布）が窓口になっています。ここには、警察OBなどが、気軽に相談に乗ってくれます。

現在、日本で最も大きな組は、山口組ですが、初代山口春吉は、神戸出身で湾岸の荷役頭から身を起こしたそうです。3代目田岡組長は、キャバレーで銃撃され、4代目竹中組長は、愛人マンションから出たところを射殺されました。5代目渡辺組長は、代を6代篠田組長に譲って隠居しました。

私も、30歳代に、たまたま店に買い物を頼み、届けてほしいといった先が、福井の江戸川組（在日朝鮮人系現在は解散）で、その事務所はまさに映画に出てくるようなたたずまいでした。間口2間ほどの鉄板の扉をくぐったところにすぐ応接室があり、戦闘服に身をまとった若衆がずらりと並び、大変びびりました。仕事が片付き、

組長が、肉でも食おうと連れて行ってもらった先は、朝鮮焼肉の店でした。

一方取り締まる側の、最近、裏金問題など、今何かと話題の警察組織について。（資料配布）織田裕二主演の「踊る大捜査線」や水谷豊主演の「相棒」など警察映画やTVドラマが人気ですが、織田裕二扮する青島刑事は、巡査部長でしょう。

また、SATやSITについて、前者は、警備部に属し、テロ・ゲリラ対策として配置、全国で11組織300名ほど。後者は、人質誘拐や凶悪犯に対し出動し、警視庁に配置、犯人との直接交渉も権限下にあります。（要約：山本）

【編集後記】

小西会員の〇暴（まるぼう：正確には丸の中に暴の字が入る）の話は、なかなか聞けるものではありません。ちょっと前の景気のいい時期には、「紳士録」や「人名名鑑」を売りつけて膨大な費用を請求した右翼系の会社があったり、だれだれ著名人の記念誌を出すから、地元の代議士の紹介で、限定部数で販売するから買ってくれと電話があったりしましたが、最近は、「おれおれ詐欺」のような素人(?) 集団でも、だます事件が相次ぎ、本当に暗い社会です。中でも、暴力団絡みになると、半端じゃないそうです。私も、医療機関向けの、この〇暴の講習会を受けたことがあります、なにかあると感じたら、暴力追放運動推進センターに、まずは連絡をした方が1番のようです。

話は変わりますが、今年の直木賞「廃墟に乞う」の佐々木譲は、警察小説で、北海道警を舞台に、「警官の血」「笑う警官」「制服捜査」「警視庁から来た男」など、単なる推理小説でなく、警察内部の裏側もとりあげています。本好きな家内の影響で、わたしも読破しました。皆さんも、暇があればどうぞ。（山本）